

キウイフルーツ新梢におけるかいよう病菌の感染と発病

激発園では、特に4月に発芽した新梢(結果枝)において激しい症状を呈する。主に5月上中旬以降に展開した葉では、褐色斑点症状は軽微であることから、新梢での発病を軽減するためには、特に発芽前から5月にかけての防除が重要となる。

■ 春先からの時期別の症状進展の推移(紅妃)

4月上旬(感染)



4月中旬(発病)



4月下旬(症状進展)



5月以降(衰弱・枯死)



■ 6月上旬における同一結果枝での発病の差異(Hort16A)

枝の基部



第1葉位



第3葉位



第5葉位

発病あり(4月頃までに展葉)



第7葉位



第9葉位

発病なし

枝の先端

➡ 激しい症状に至る主要感染時期は展葉開始から4月頃までと推察